



伊那ロータリークラブ



事務所 伊那市西町5016-2 TEL(72)0077 例会日 毎週木曜日 会場くぬぎの杜 TEL(78)1121

会長 小河節郎 幹事 鈴木正比古 会報委員長 八木沢真 第3074回 例会2025.8.28 No.1674

UNITE
FOR
GOOD



Rotary
第2600地区

よいことの
ために
手を取りあおう

ソング それでこそロータリー

会長談話 小河節郎会長

毎日暑い日が続いています
が、こんな日に注意しなければ
ならないのは紫外線対策、
日焼けですね。太陽光線は、
紫外線、可視光線、赤外線に分
類できますが、この紫外線も
大きく3つに分類されます。



UV-A・UV-B、UV-Cに分類されます。
UV-Aは大気吸収を受けても地上に届く、それにより皮膚にしわ・たるみなどが発生する原因になります。UV-Aは雲やガラスをも通り抜けるので、肌の老化・病気・その他のトラブルを起こさないためにも、日焼け対策はしっかり行うことが肝要だと思います。

UV-Bは成層圏のオゾンにより吸収されますが、地上には10%程度が到達し、皮膚がん・白内障、免疫力の低下の原因となる一方で、ビタミンDの生成に重要な役割を果たす良い面もあります。

UV-Cは成層圏オゾンにより、地上には届かないそうです。

対策として、日焼け止めを塗る・サングラスを着用する・アームカバーを付けるなどがあります。

紫外線はこの10年間で、4.3%増加しています。紫外線増加の原因として、かつては地球を取り巻くオゾン層破壊にあるといわれてきました。この原因としては、フロンガスの大気中への放出によるオゾン破壊でした。

オゾン層は太陽光に含まれる有害な紫外線の大部分を吸収し、生物を守る働きがあるわけですが、フロンガスは、空調機器の冷媒ガスや洗浄材その他、発泡剤などとして広く利用されてきました。フロンガスは大気中に放出されると、成層圏に到達し、オゾン層を破壊する要因となります。世界的なフロンガス規制で、1990年以後オゾン層は復活しているそうです。

しかし今でも紫外線は増加傾向にあり、この30年間で倍増しています。この要因のひとつが環境問題で取り組んでいるCO2の減少や、大気中の塵や汚染物質が減ったことで、紫外線が地上に

届きやすくなったことも大きな要因であるといわれています。外出時の紫外線には十分注意する必要があります。

半面、紫外線を浴びることも必要です。紫外線は皮膚の中でビタミンDが作られ、血液によって肝臓や腎臓に運ばれ、体の中でリン・カルシウムを蓄えるそうですが、ビタミンD含有食品は限られるので、日光を浴びることも重要だそうです。ただし10分程度だそうです。

以上会長談話とさせていただきます。

幹事報告 別紙をご覧ください

委員会報告 【ロータリーの友】8月号紹介
会員増強・新クラブ結成推進月間 本郷一博副会長
横組み P2~RI 会長メッセージ

「会員増強とは、単に会員数を増やすことではなく、新しい扉を開くことです。新会員は新たな発想やエネルギーをもたらし、クラブを強化し、社会と共に進化させます。」と述べられています。P12~本年6月にカルガリーで開かれた国際大会の様子を掲載。縦組み P2~国際政治学者で放送大学名誉教授の高橋和夫氏の講演「“復活”したトランプの世界戦略」を掲載。

出席報告 会員数51名 内出席免除者17名
出席者28名 事前メーキャップ0名 出席率70.73%

ニコニコボックス

- ・山田 益 私の兄の孫のピアニストが、カーセンサーに掲載されました。
- ・荒木康雄 当店の「さばの味噌煮弁当」が、栄養バランスの優れた食事「スマートミール」の認証を受けました。
- ・平出吉範 先日の納涼会では「イーナちゃんカルテッド」の演奏をお聞きいただき、ありがとうございました。
- ・小林句子 納涼会の二次会のご利用、ありがとうございました。
- ・清水 晃 卓話、がんばります。

クラブフォーラム 会員卓話

清水解体工業(株) 専務取締役 清水 晃 会員
演題-「私の履歴書」

昭和54年生まれの45歳、家族構成は嫁と9歳



と3歳の息子2人、西春近で清水解体工業という会社を経営させて頂いております。

こちらのメンバーの皆様の他にも、小河会長をはじめ、多くの方々に、日頃より仕事の面で目をかけて頂いております。この場をお借りしまして深く感謝申し上げます。



市内の小・中・高と進みまして、18歳で東京の大学に進学致しました。私は幼少の頃からお笑いの世界に大変興味がありました。当時は今みたいな漫才の賞レース主体の世界ではなく、私が憧れたのは、独自の世界を作るコントです。三谷幸喜さんや千原ジュニアさんのように、自分もいつかプロになってテレビで活躍して、故郷に錦を飾りたいと、大学入学と共にNSCという吉本興業の養成所の門を叩きました。そこで相方も見つけまして、チャンスは少なかったですが、吉本興業で何とか生き残って4年ぐらい活動致しました。

今思い返すと、吉本所属時代はコンプライアンスに引っかかりまくる事柄や、有名人のエピソードも山のようにございますが、お時間の都合上、個人的に聞きに来て頂きたいと思います。

22歳の時、運命の糸、浅井企画という芸能事務所からお声がかりしました。関根勤さんやキャーインさんが所属している事務所です。大学の仕送りがもう少しで終わるという事、吉本ではライバルが多すぎて厳しいという観点から、コンビで浅井企画に移ることになりました。結果、30歳まで8年間所属することになるのですが…

当時から少数精鋭の事務所です、当初数年は色々な営業のお仕事やテレビのオーディション、ライブの出演等色々行かせて頂きましたが、やはり結果が伴わないと仕事は徐々に減っていきまして、芸能事務所には珍しく月給制で、ただ5万！そのかわりライブや営業の仕事は入ったら必ずこなす。昼間はネタ作り、オーディション、ライブ、夜は深夜バイトを掛け持ち、いつ抜け出せるか先が全く見えない状況で、もがき苦しんでおりました。

当時深夜バイトで、首都高の道路の下のアスベスト除去を8年やり、8年で東京のすべての首都高の石綿全撤去に成功しました。また、バイトで初の主任に出世しました。

アスベスト除去に輝く所があったんだとおもいます。因果な物で昔も今も同じアスベスト除去に従事しておりますが、なんやかんやで30歳、もう中堅。オーディションや営業の仕事もほとんど無くなってきて、ある日突然怖くなりました。同期で売れて派手な生活をしている奴が出始めた、高校や大学の友人が家庭を持って家を建てた等、etc…

それに比べて私は一体何をやっているんだろうと思い、それで事務所と相方に土下座をして、

ある日突然辞めました。荷物も全部捨てて伊那に帰りました。不思議と悲しさや虚無感は無く、むしろ長い修業が終わったみたいな開放感でいっぱいでした。

でも絶望感も無論ございまして、30歳まで社会に出た事もなければ、手に職もないこんなアルバイトが、一体今後どうやって生きていけばいいのか。当時うちの会社は、父が「私が帰ることはまず無い」と考えておりましたので、会社を閉じるのを想定し、数人の社員と月数件の有るか無いかの現場をやっているような状態でした。そんな中でも見かねた父の方から、暇なら解体の営業をしてみるかと言ひ、私も見よう見まねで行ってみることにしました。

伊那市内から始まり、飯田、松本、諏訪、遠くは上田から長野市の建設業者、工務店、設計事務所等、数カ月かけて長野県中ほぼ全部を、名刺を持って行脚しました。この営業が性に合っていたのかも知れません。

もちろん最初は見向きもされませんでした、1件、2件と徐々に仕事を頂けるようになっていき、こんな私に目をかけてくれる方が、しだいに増えて行きました。

あれから15年経ちました。おかげ様で多少のゆとりも生まれました。ただ人手不足や、工期や段取りやら、今でも問題は日々山積みです。でも辛いと思ったことは1回もありません。日々楽しくて楽しくて仕方がありません。それは、仕事があるという喜びの大切さが、どんなに素晴らしい事を身をもって知っているからです。ただ、あの辛い芸人時代が無ければ、今の私は無論おりません。今思い返すと、立派な解体屋になるための修行期間だったのかなと感じたりしています。

私はロータリークラブの概念は、言葉では理解していても、実際今は良く分かっておりません。ただ、私の中に今日まで生かしてくれた伊那谷への感謝というものを、少なからず持っておりますので、それを今後は恩返ししたいと思っています。感謝と恩返しをロータリークラブの精神に織り交ぜて、自分なりの奉仕活動をして行けたら良いかなと思っています。

最後に、私が入会に至ったきっかけというのは、15年前営業を始めたあの日、私に初めて住宅の解体の現場を下さったのが、実は小河会長さんなのです。

当時、全くの飛び込みで入った創和設計さんでしたが、何処の馬の骨かも分からない私に真摯に対応して下さいまして、今でも大変感謝しております。初めてロータリークラブの例会を見学させていただいたお、次期会長が小河さんだと聞いた時、これはまさしく運命だなと感じました。

駆け足でお話させていただきましたので、お聞き苦しいところもございましたでしょうが、以上となります。

ご清聴ありがとうございました。